

仙台総合ペット専門学校

「学校関係者評価報告書」

学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校では、本校規程に基づき、令和6年9月27日（金）に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下にその内容についてご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

開催日：令和6年9月27日（金）

場所：仙台総合ペット専門学校

参加委員：赤澤 晓昌（一般社団法人 全国ペット協会 事務局長）

（敬称略） 渡辺 和枝（ワンダーランド 代表）

渡邊 圭（有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台）

磯村 直樹（LOVE WALK オーナー）

同席者：浅野 悟（教頭）

菅原 学（飼育管理科 科長）

千葉 雅司（ドッグトレーナー科 科長）

高橋 和也（トリマー科 科長）

仙台総合ペット専門学校 学校関係者評価委員会 報告 〈自己評価結果との対応関係〉

(1) 教育理念・目標

〈評価及び意見〉

学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術をより高めるための重点目標を各科で設定し、計画的な指導に取組んだ。このことについて今後も継続的な取組みをするよう意見をいただいた。また、引き続き保護者との連携強化や企業との連携強化もすすめるように意見をいただいている。

〈今後の取組等〉

動物業界の変化も速くなってきており、学生のセミナー等だけでなく教員側の研修の充実も図る必要があるため、企業との連携をより深め、積極的に外部とのつながりを作る。また、保護者にも学校の方針や動物業界の現状など説明し、学生が直面する問題への理解を深めてもらう。

(2) 学校運営

〈評価及び意見〉

運営方針や意思決定機能は学園規定において明確にされ、有効に機能している。また、各種制度、諸規程に関しても整備がされており、適切に改正が行われている。

教育活動に関する情報もホームページや SNS 等で公開されており、学校の取組みについても理解できると評価をいただいた。しかし、SNS 等での情報発信は情報リテラシーに十分注意をする必要があると意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

SNS (LINE@、twitter、Instagram、ブログ、tiktok) を利用した情報発信に引き続き力を入れ、より多くの方に学校の教育活動の現状、成果について知っていただくよう取組む。

情報システム化等による業務の効率化については、まだまだ遅れている部分が多く見られるため学園が設置している IT 委員会などを通じて継続的な改善が必要になってくる。

(3) 教育活動

〈評価及び意見〉

ペットショップや動物病院での現場実習は実際の働き方のイメージを学生に持たせる上では良い効果を与えていると引き続き評価を頂いた。しかし、新たな教員の確保や指導力向上のためのセミナー参加など、積極的に行うように意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

愛玩動物看護科は3年課程に変わり、現在よりもさらに動物病院での現場実習先の確保が難しくなると思うため、現場との連携をさらに深めていく必要がある。また、動物へのかかわり方も時代と共に変化しているため、現状に満足せず新たな教員の確保も進めていく。

(4) 学修成果

〈評価及び意見〉

就職決定率は昨年度より向上したが資格取得率（愛玩動物飼養管理士2級）は低下している。資格取得率に関しては教員不足により授業コマ数が増加したため学生へのサポートが十分とれていないように感じる。除退学率に関しては学内カウンセラーの使用の影響なのか悪化はしていなかった。しかし、メンタル不調を抱える学生は年々増加しており、新たな対策を考える必要がある。

〈今後の取組等〉

引き続き親御様や学内カウンセラーとの連携強化を図る。また、授業コマ数の増加や学外ガイダンスの参加、その他事務作業の増加など現状の人数では学生へのサポートが満足に行えていない場面も見られる。そのため、新たな教員の確保やシステムの効率化など図る必要がある。

(5) 学生支援

〈評価及び意見〉

概ね良い評価を得ている。しかし、保護者との連絡手段が電話とメールが主になり、時代に合わなくなっている様子はみられるため、その他の連絡ツールの確保も考える必要があると意見をいただいた。また、同じように卒業生へも継続的なサポートを行えるように支援体制を築く必要があるのでないかと意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

教員の就業時間内では多くの親御様は仕事の都合で電話に出ることが出来ない状況である。また、メールも普段から使用していない為、あまり確認していただけない状況が増えてきたため、新たな連絡手段の構築を学園のIT委員会などを通じて模索していく。卒業生も同様に電話、メール以外の連絡手段の構築を築いていく。

(6) 教育環境

〈評価及び意見〉

新型コロナウイルスの影響も小さくなり、いくつかの校外研修も再び行えたことは評価できる。また、トイレの一部改修なども行い、環境整備も進んでいる。しかし、Wi-Fiなどインターネット環境についてはまだ改善がみられない為、早期の改善が必要と思われる。

〈今後の取組等〉

校舎の老朽化も進んでいるため、随時、改修工事をしていく。その際、教員だけでなく学生達からも意見をもらい、学生にとってより良い教育環境を作っていく。

(7) 学生の受入れ募集

〈評価及び意見〉

昨年に続き本校の魅力や教育内容の説明をするパンフレットやその他の資料は分かりやすく作っており、良い評価をいただいた。SNS の有効的な活用や学外ガイダンスの積極的な参加など継続しておこなっていくようにと意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

少子化の問題は深刻であり、今後も影響は長期的にあるため、企業との連携をより強化し魅力の多い教育環境を作り、学生募集に繋げていく。

(8) 財務

〈評価及び意見〉

経理規程にもとづき会計監査をはじめ、適切に運用されている。財務情報に関しては、ホームページの「学校情報公開」の中で公開している。

〈今後の取組等〉

特になし。

(9) 法令等の順守

〈評価及び意見〉

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

〈今後の取組等〉

引き続き、コンプライアンスの強化を行っていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

〈評価及び意見〉

新型コロナウイルスの影響も少なくなってきたため、今後はより動物保護団体への寄付やボランティア活動などより積極的に行う必要があると意見があった。

〈今後の取組等〉

新型コロナウイルスの影響も考慮しながらになるが、継続してボランティア活動などの社会貢献・地域貢献を行っていく。

— 学校関係者評価委員会総評 —

概ね良い評価をいただき、特に少子化が叫ばれる中での学生募集については良い結果を出している。しかし、教員不足の解消やインターネット環境の改善など早期に取り組んで行かなければいけない課題が多く残っている。

また、現状維持だけではなく様々な外部企業と連携し新たな刺激が加わることでより高いレベルの教育を提供できる場としていただきたい。

さらに除退率の改善や親御様や卒業生との連携強化もさらにすすめて欲しいと意見をいただいている。